

# レラ～Rera～

## 第4回

### 意外に知らないタバコの真実

～受動喫煙による影響その②～

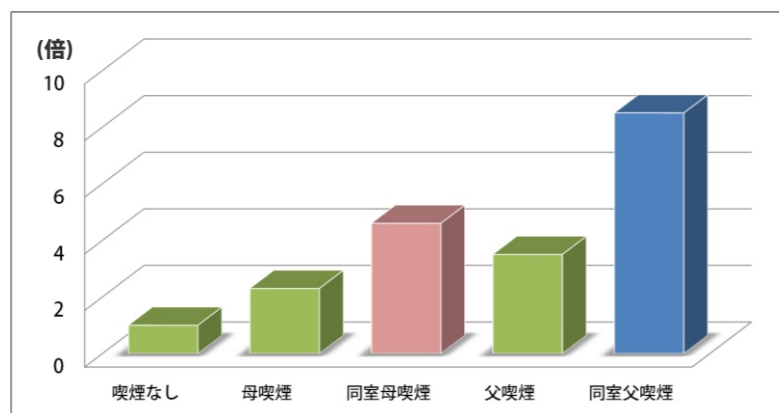


循環器内科  
上原 明彦

#### 乳幼児への危険性

前回、父母の喫煙により赤ちゃんも受動喫煙をしていると説明しました。では、赤ちゃんが受動喫煙を受けていると何が危険なのでしょう。右のグラフは受動喫煙と乳幼児突然死症候群の関係性を表したものです。受動喫煙を受けている赤ちゃんは乳幼児突然死症候群の危険性が高まるということがわかっています。父母が同室で喫煙している場合、さらに乳児突然死症候群の危険性が高くなるということがわかっています。あなたの喫煙が、大切な赤ちゃんの命を奪ってしまう可能性もあるのです。

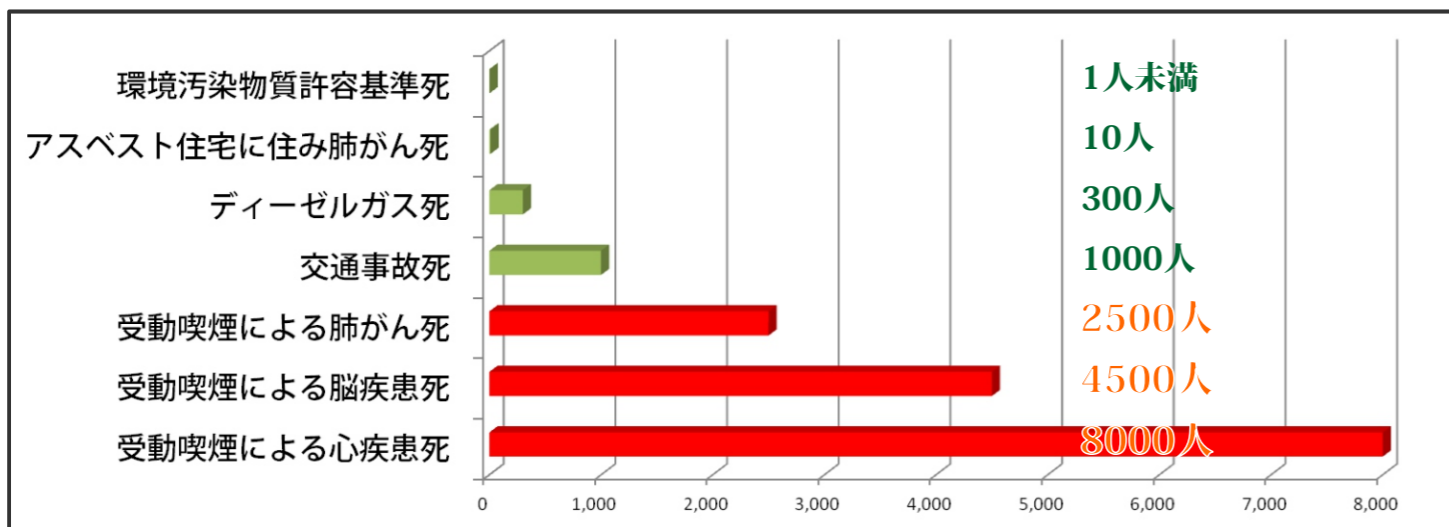
受動喫煙と乳幼児突然死症候群の関係性



Klonoff-Cohen HS, et al. JAMA. 273:795, 1995.より

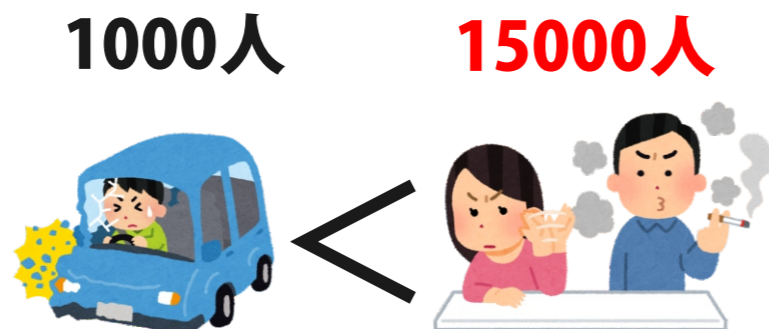
#### 受動喫煙による生涯リスク

受動喫煙の影響の大きさを、他の問題とされているものと比較すると、驚くべきデータが出ています。



松崎道幸「臨床科学34巻号」1998 ・ 厚生労働省研究発表より

受動喫煙が原因で死亡する人は、国内で年間約15,000人に上ることがあきらかになっています。非喫煙者が喫煙者と共に1日を同室で過ごすことは、アスベストを含有する建物で20年間を過ごすよりも、肺がんを発症する確率が100倍近く高いのです。喫煙による健康への影響は自分だけの問題ではありません。それでもあなたはタバコを吸い続けますか？



#### 目次 ～Contents～

- 新年のご挨拶
- 院長の独り言
- 健康保険による診療を受けられる皆様へ
- 意外に知らないタバコの真実



# 新年ご挨拶



院長  
井齋 偉矢

2018年新春のお慶びを申し上げます。

今年の4月には診療報酬と介護報酬の同時改定が行われます。団塊の世代が75歳以上になる超高齢化社会を前に、効率的な医療・介護の体制を整えることが基本になっています。当院には急性期病床と療養病床がありますが、改定により特に療養病床では入院できる患者さんの条件が変わる可能性があります。改定内容が決定しましたら、変更点についてお知らせ致します。

本年末までには法人名が「医療法人静仁会」から「医療法人徳洲会」に変わる予定です。これに伴って「静仁会静内病院」という慣れ親しんだ病院の名称も「〇〇徳洲会病院」のように変更になる可能性があります。たとえ名称が変わりましても、当院は「生命だけは平等だ」の理念を継承し、地域の皆様に寄り添って、医療・福祉・介護に全力を尽くして参ります。

本年も相変わりませず、宜しく願い申し上げます。



看護部長代行  
細川 真喜子

地域の皆様におかれましては、幸多き新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。昨年中は、当院活動に、ご理解、ご指導を頂きましてありがとうございました。

当院は、この地域に根差し、寄り添い、貢献できる病院を目指し、昨年も、活動のひとつとして小・中・高校生の職場体験や、インターンシップに力を入れてまいりました。結果、日高管内から60名程の生徒さんが来院して下さり、年々関心が高まってきている事を知りました。この地域で、将来医療系の仕事に従事したいと考えている生徒さんがたくさんいる事を知り、とても嬉しく、頼もしく思いました。そして、この活動は、地域の活性にも役立つ事と自負し、継続していかなければならないと痛感した次第です。

これからも、患者様に寄り添いながら、邁進していきたいと願っておりますので、ご鞭撻の程をよろしくお願い致します。



事務長  
狩野 義宗

新春のお慶びを申し上げます。皆様には、本年も益々のご多幸をお祈り申し上げます。旧年中は、静仁会静内病院に多大なご理解を賜りましてありがとうございました。

さて医療・介護の分野では、今年4月に診療報酬の改定がおこなわれ、さらに国・道による2025年に向けての地域医療構想も大きく進む年になるようです。当院としては、それらを踏まえ、体制を熟考しなければならない年になると考えられます。しかし静仁会静内病院は、常にこの地域に必要な医療・介護・福祉を見据え医療・介護体制を構築してまいりますので、より一層のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

職員一同、更に努力してまいります。



健康友の会 会長  
山口 芳伸

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、平成30年の輝かしい新春をお迎えのこと心よりお慶びを申し上げます。

本年は皆様方にとりまして最良の一年でありますとともに、会の発展を願いまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

健康友の会では毎年パークゴルフやぶどう狩り、旅行など各種行事を楽しく実施しております。会員様を随時募集しておりますので、ぜひ入会をご検討いただければ幸いです。

【健康友の会】年会費 1,000円

お申込み 静仁会静内病院 TEL:0146 - 42 - 0701

事務局 土生 (はぶ) まで

# 院長の独り言

～近い将来、世界から現金が消える!?!～



あけましておめでとうございます。今年も静仁会静内病院は患者さんにしっかり寄り添って、地域医療に貢献してまいります。

2017年11月27日付けの毎日新聞にこんな衝撃的な見出しの記事が乗りました。「フィンテック スマホ決済、現金消えた スウェーデン、パンも献金も」スウェーデンでは、2012年からスウィッシュという大手6銀行が共同経営する決済アプリで、携帯電話番号と銀行口座がひも付けされているので、店での支払いや個人間のお金のやり取りがスマホを使って瞬時にできます。

スウェーデンでは、国民の半数が使い、19~23歳の利用率は95%に達し、財布に現金を入れていない人は15%に達します。ATMが撤去され、銀行の支店の半分以上が現金を扱わないので、銀行強盗が現金のない支店を襲撃したが何にも取るものがなかったそうです。バスや電車やタクシーでも現金は使えず、「現金支払い禁止」という告知板を置いたカフェやレストランも多くなっています。一番困っているのは物乞いです。みんな現金を持ち歩かないので施しがもらえないのです。ただ、この変化についていけない高齢者は困っているようです。



日本では、大手3銀行が検討を始めたばかりで、かなり遅れています。しかし、コンビニでは電子マネーがかなり普及してきましたし、ビットコインのような仮想通貨の世界の取引額の6割が日本なのです。ビットコイン対応の店が増えていて、ビックカメラ、メガネスーパー、エイチ・アイ・エスなどが対応を始めています。売り手と買い手の直接取引が普及しますと、様々な仕事が消えると言われていています。公務員、銀行、通販業者、反社会的勢力などです。お年玉もスマホでやり取りするようになるかもしれません。日本は世界で初めて法律で仮想通貨を位置づけました。壮大な社会実験はもう始まっています。今から少しでも現金を使わない生活を考える必要があると思います。

## 健康保険による診療を受けられる皆様へ

月初めの診療の際には、受付窓口で保険証を必ずご提出ください。

**保険証を忘れると医療費の全額の支払いが必要な場合があります。**

保険証の変更があった場合にもご提出をお願いします。

